仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2011年7月
第６号
（年２回発行）

お盆号

発行部数3千部

西願寺／ご本尊（阿弥陀如来像）

「今、改めて考える…お盆のこと」／　丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／浄土宗と浄土真宗違いは何？
実践教室／葬儀参列の基礎知識（不祝儀袋と香典の額他）
仏事相談／納骨の時期に決まりはあるの？

今般の東日本大震災により被災されました多数の皆様、及びご家族の皆様に対し、謹んでお見舞い申し上げます

「今、改めて考えるお盆のこと」

お盆は正しくは、盂蘭盆会といい仏説盂蘭盆経という経典に由来しています。

お釈迦さまの十大弟子の一人、目連尊者は神通第一と言われていました。あるとき得意の神通力を使い、亡き父母の姿を見てみると、母が餓鬼道に堕ち苦しんでいる姿が見えました。目連尊者はお釈迦さまに救いを求め、教えのとおり7月15日に諸仏衆僧に供養して、父母の追善供養をしてもらったところ、餓鬼道に堕ちていた母は救われました。

丹羽義昭住職

問　**お彼岸と並び日本人に馴染みの深い仏教行事であるお盆ですが、皆さんその意味についてまで深く考えることはすくないのではないでしょうか？**

住職　そうかもしれませんね。お彼岸の場合は、六波羅蜜といって大乗仏教における六種の修行を実践する、自分の修行の期間と考えます。お墓参りも、皆さん自分の家のお墓だけでなく親戚などあちこちに参られるのでは？　しかし、お盆は、自分のところにご先祖さまが帰ってくると考えるので先祖供養の意味合いも強いのです。ですから、お盆になると自分の菩提寺のある田舎へ帰られる方も多いでしょう？

問　**お盆は、目連尊者の故事に由来した仏教行事だということですが。**

住職　はい。施餓鬼会の由来となっている焔口陀羅尼経（えんくだらにきょう）のお話しととてもよく似ているのですが、お盆は仏説盂蘭盆経という経典に由来しています。お盆では、七月十三日から十六日までの四日間、ご先祖さまの霊を迎えてお祀りしますが、地方によって月遅れの八月に行うこともあります。草加のこの辺りでも八月に行うのですよ。

問　**その時期になるとスーパーなどでも、お盆の為のお飾りのセットなども売られていますね。お盆では精霊棚を設けるのが慣わしですが、最近でもきちんと形式に則ってお盆を迎える家庭は多いのでしょうか？**

住職　だんだんと少なくなってきたように思います。生活スタイルも変化し、昔と同じように続けるは難しいのかもしれませんね。

本来は、お盆を迎える準備として、迎え盆の二、三日前に墓所へ出向きお墓とその周辺を掃除し、家でも仏壇をきれいにして、仏壇の前に精霊棚を置きます。そして迎え盆の日の夕方には、門口で迎え火を炊きます。

問　お盆の行事は、お寺によって様々のようですね。西願寺では、お檀家の方々の家に棚経に回るそうですが、一軒一軒の全ての家に行かれるのでしょうか？　また、本堂で盂蘭盆会の法要などはなさるのですか？

住職　昔は、全てのお檀家さんの家に棚経に行っていましたが、忙しい現代では時間の都合をつけるのも大変のようですから、行っても留守ということもあったりして、今は事前にご案内を出して希望の方の申し込みを受けスケジュールを組んで行っています。また、昨年からは、新仏さまのある家の方々には、本堂にて合同の新盆法要も営むように致しました。

問　どのような方が新盆にあたるのでしょうか？

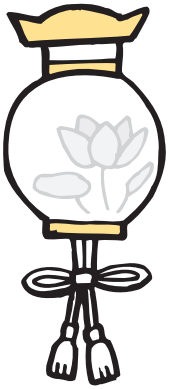
住職　四十九日の忌明け後、はじめて迎えるお盆が新盆、または初盆といい、忌明けが済まないうちにお盆を迎えたときは、次の年が新盆になります。

各家庭では、新盆のときは、故人の好きだったものを供え、白い提灯をともす風習がありますね。

問　棚経というのは、お盆の期間にお檀家の各家の精霊棚に向かい読経をしてもらうというものですが、精霊棚に違いはあるのでしょうか？

住職　地方によって若干の違いはあると思いますが、最近では精霊棚自体作らない家庭も増えていると思います。以前は、この辺りでも皆さん作っていらっしゃいましたが…、古くからの歴史ある本家のお宅に伺ったときなどご先祖さまの数も多いですから、全ての位牌を精霊棚に並べ、その位牌の数の分だけ一人一人に小さなお膳を用意し供えます。ですから精霊棚もとても大きくてね（笑）

そんな光景を見て子どもたちも「ご先祖さまが帰ってきた～！」という気持ちになっていたのでしょうね。



問　そのように精霊棚を作るのは難しいかもしれませんが、お盆は、日常の中で意識することが少なくなっているご先祖さまと自分との繋がりを考えるきっかけとなるのかもしれませんね。

住職　そうですね。ご先祖さまを想い、いのちというのは代々続いているものだと気付き、そして、今ある私もその脈々と続いてきた有難い〝いのち〟の一つなのだということを改めて想い、感謝することがお盆ではないでしょうか。

問　今年は、祖父母、曽祖父母…もっともっと前のご先祖さまのことも想いお盆を迎えたいと思います。本日はありがとうございました。

シリーズ浄土宗

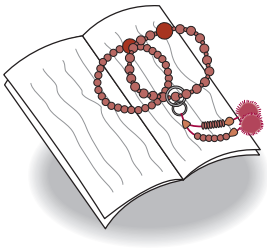
浄土宗と浄土真宗の違いは何？

浄土宗と浄土真宗は、ともに「南無阿弥陀仏」というお念仏を信心の行とします。

法然上人の開いた浄土宗と、親鸞聖人を宗祖とする浄土真宗の違いはどのようなところにあるのでしょうか？

浄土宗の教えの根幹「専修念仏（せんじゅねんぶつ）」

法然上人は、これまでにあった難解な学問や修行を必要とする仏教の教義ではなく、ただひたすらに南無阿弥陀仏と念仏をとなえれば誰でもが等しく救われると説きました。その革新的な教えは、戦乱と飢饉の中、救いを求める民衆の間に瞬く間に広まっていきました。



念仏には、声に出してとなえる称名（しょうみょう）（口称（くしょう））念仏と、仏さまや極楽浄土を思い浮かべる観想念仏があります。法然上人は称名念仏こそが、往生につながる唯一最上のものとしました。この、他の一切の修行を捨てて念仏のみを唱えることを専修念仏といい、これが浄土宗の教えの根幹なのです。

「専修念仏」から「本願他力」「自然法爾（じねんほうに）」へ

法然上人の信望篤い弟子であった親鸞聖人が、法然上人から受け継いだ専修念仏を独自の思想に確立したのが浄土真宗です。

親鸞聖人は法然上人の説く専修念仏の教えを独自の「本願他力」「自然法爾」という思想として確立していきました。

「本願他力」とは法然上人の説く「ただ念仏すれば救われる」というものから、阿弥陀さまの救いは念仏するわれわれの力（自力）によるのではなく、あくまでも阿弥陀さまの願い（本願）によるもの。「自然法爾」もまた凡夫の自力のはからいをまじえない、阿弥陀仏の誓願を意味します。

こうして法然上人が築いた万人救済の思想は、弟子の親鸞聖人によって絶対他力の信心として展開していったのです。

今年、２０１１年は法然上人８００年大遠忌と親鸞聖人７５０回大遠忌を迎えます。浄土宗や浄土真宗の総・大本山などでは様々な記念イベントが開催され、また、今秋には東京国立博物館にて普段鑑賞することのできない貴重な所蔵品、美術品を集めた「親鸞と法然　ゆかりの名宝」展が開催されます。

【親鸞と法然　ゆかりの名宝】

法然と親鸞の史上初の合同展。国宝・重要文化財など名宝約２００点の展示。会場／東京国立博物館平成館
会期／２０１１年10月25日～12月４日

浄土宗／実践教室

葬儀参列の基礎知識

不祝儀袋とお香典の額

葬儀に参列する際に、迷ってしまうことの一つに不祝儀の金額があります。香典の金額は、故人または遺族とのそれまでの付き合いの程度や、年代、勤務先での地位などによって違ってきます。事前に同じ立場程度の人と相談し金額を合わせるのも無難な方法。

目安としての表を掲載しますが、金額はあくまでも目安です。こうでなければいけないという決まりはなく、大切なことは私たちの故人を偲ぶ気持ちなのではないでしょうか。

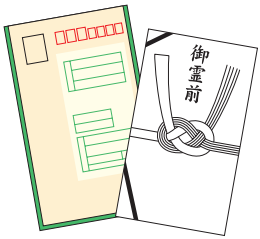
不祝儀袋の表書き名前は薄墨で書きます。名前はフルネームを書き、表書きは、御霊前、御香典、御香料、御花料など宗教、宗派によって違いますが、浄土宗では一般的に御霊前と書くことが多いようです。（浄土真宗では、通夜・葬儀でも表書きは「御仏前」と書く）。また、不祝儀袋に入れるお金は、新札は使わないという習慣があります。新札しか持ち合わせがないときには軽く折り目をつけてから包むとよいでしょう。

行くのは通夜？　葬儀？

現在は、一般の弔問客も通夜に出席することが多くなってきていますが、可能であれば葬儀に参列したいものです。本来通夜というのは、親族など身近な人たちだけで、夜通し別れを惜しむためのものでした。しかし、昼間に行われる葬儀・告別式に参列するのが難しい場合、遺族から通夜の日程も知らされていれば、そちらに出席しても大丈夫。

通夜にも葬儀にも行けなかったら？

代理の人に通夜か告別式に参列してもらうか、もしくは弔電を打つなどして弔意を伝え香典は不祝儀袋に入れて現金書留で郵送します。その際には、お悔やみの言葉を書いた手紙を添えましょう。



お香典の目安　年代別の香典額（最多回答額）

（単位：円）

故人との関係	20代	30代	40代	50代	60代以上
祖父母	10,000	10,000	10,000	10,000	100,000
親	50,000	50,000	100,000	100,000	100,000
兄弟姉妹	30,000	50,000	30,000	50,000	50,000
おじ・おば	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
上記以外の親戚	5,000	10,000	10,000	10,000	10,000
職場間系	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
勤務先社員の家族	3,000	5,000	5,000	5,000	5,000
取引先関係	5,000	5,000	10,000	10,000	10,000
友人・その家族	3,000	5,000	5,000	5,000	5,000
隣人・近所	3,000	5,000	5,000	5,000	5,000
その他	5,000	5,000	5,000	5,000	10,000

出所：（社）全日本冠婚葬祭互助協会「香典に関するアンケート調査」

■西願寺大施餓鬼会法要のご案内■

年に一度の大供養法要ですので、万障お繰り合わせの上、ご出席ご参詣いただき御仏前にご焼香供養ください。

日時　平成23年8月18日（木）
13時より余興（落語）
14時より法要

場所　西願寺本堂

尚、当日は草加市文化大使でもある三遊亭春馬師匠の落語もあります。是非、間近で見る落語をお楽しみください。

【お施餓鬼】

施餓鬼会は、「焔口陀羅尼経」というお経に説かれた阿難尊者の話に由来しています。先祖追福のために、また一切の生物の霊を慰め、あわせて自分自身の福徳延寿を願う法要で、施餓鬼棚に「三界万霊牌」や初盆の戒名を記した位牌を置き、浄水や食物を供え、五如来の「施餓鬼幡」を立てて法要を営むのが習わしです。

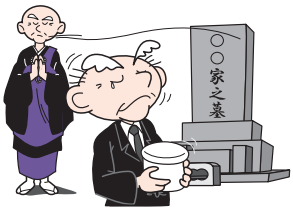
仏事相談

「四十九日に納骨を」と勧められました。納骨の時期に決まりはあるのでしょうか？

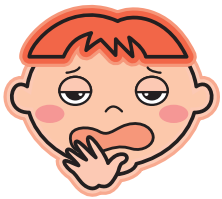
必ず四十九日にという決まりはありません。

葬儀が終わって、しばらくの間遺骨は自宅に安置し、一般的には、四十九日忌の法要に併せて納骨することが多いようですが、一周忌や三回忌などに納骨をされる方もいらっしゃいます。その場合、菩提寺などにお願いし遺骨を預かってもらうこともあります。

また、地域によっては、葬儀当日に納骨するなどいろいろありますので、お寺に相談することが望ましいでしょう。



暮らしの中の仏教語「おっくう」【億劫】



暑い毎日が続いた夏の日は、夕ご飯の支度をするのもなんだかおっくうになってしまいますね。さて、このおっくう　漢字で書くと「億劫」となり元は仏教語で「おっこう」といい非常に長い時間を表した言葉だとか。

「劫」はサンスクリット語の「kalpa」の音写で、古代インドで最長の時間の単位です。「一劫」の長さは、「100年に一度、天女が高い岩山に舞い降りてきて羽衣で頂上を撫で、その撫でられた摩擦で岩山が消滅するまでの時間」だとか、「40里四方の大きな城に芥子の実を充満させ、100年に１つずつその実を取り、全部なくなっても、まだ１劫は終わらない」という説明です。

それが一億倍ということで、とにかくとてつもなく長い時間ということはわかります。そこから「億劫」は時間が長くかかるためやりきれないという意味や、計りしれない時間がかかることは容易ではなく面倒に感じることから「面倒くさい」の意味で用いられるようになったとか…。

掲　示　板

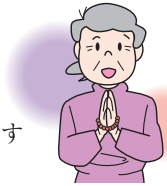
第二回 十三夜お月見コンサートへのお誘い

昨年に引き続き今年も「お月見コンサート」を開催いたします。お寺の本堂で味わう一味違ったコンサートです。是非、皆さまお気軽に足をお運びください。

日時／平成23年10月14日（金）
18時より
場所／西願寺本堂

西願寺　別時念佛会のご案内

こころの安らぎともなるお念佛をご一緒にお唱えしませんか？



日時／毎月25日　18時より
場所／西願寺本堂

◆参加申込について
事前にご連絡をお願い致します
当日でも大丈夫です
当日灯明料をご奉納願います。

お月見コンサート・別時念佛会へのお問合せはお気軽に…

■西願寺■
TEL. 048-925-1723

西願寺　今後の行事案内

◎7月13日（水）～16日（土）
お盆会（東京棚経）
◎8月13日（土）～16日（火）
旧盆会（地元棚経）
◎8月18日（木） 大施餓鬼会
◎9月20日（火）より26日（月） 秋の彼岸会
◎10月14日（金）
第2回十三夜お月見コンサート

毎週水曜日は管理事務所の定休日とさせていただいております。事務手続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。
皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。
尚　墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にいらしてください。

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思います。また、「さんが」についてのご感想もお待ちしております。

◆イオ株式会社
西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四-七-十一　カクタス飯田橋ビル7F
FAX　03（3265）1392
Mail：info@io-co.net

■次号予告

次号は平成二十三年十二月発行予定の「新年号」です。

◆編集後記◆

暑い暑い夏がやってきました。夏の楽しみと言えば、花火にスイカ：それともビールと枝豆でしょうか？　ちまたでは夏の節電に備え、様々な暑さ対策の楽しいグッズが売り出されていますね。なかなかの優れものもあるようです。そう考えると今までの私たちの生活はあまりにも電気に頼りすぎていたのかもしれませんね。

さて、今号ではご住職にお盆について伺いました。ご先祖様と言っても今までは、せいぜい自分の祖父母の代くらいまでしか考えていませんでしたが、改めて考えると私自身も何百年もずっとずっと続いてきている「繋がり」の中にいるのですよね。そう考えると、自分のルーツをたどってみたくなりました。

発行者／
遊馬山一行院　西願寺
〒三四〇―〇〇三一　埼玉県草加市遊馬町四三〇番地
電　話　〇四八―九二―五一―一七二三
ＦＡＸ　〇四八―九二―五一―一七八九

彩の都メモリアルパーク
〒三四〇―〇〇三一　埼玉県草加市遊馬町一一六〇―九
電　話　〇四八―九二―一―四一九四
ＦＡＸ　〇四八―九二―一―四一九五

企画・編集・製作／
西願寺　丹羽義昭住職
イオ株式会社　西願寺・彩の都メモリアルパーク通信
「さんが」編集部